

マレーシア国民に大人気の巨大カジノリゾート ～ゲンティンハイランド～

シンガポール事務所

クアラルンプールから北東へ車で約1時間、山あいの高原に突然都市が姿を現します。それがマレーシアで唯一の政府公認カジノを有する「ゲンティンハイランド」です。

ゲンティンハイランドは、マレーシア国民に大人気の巨大リゾート。創設者の林梧桐が行商や建設事業から身を興し、一代で築き上げたゲンティングループの象徴です。ゲンティンは、今やグループ社員だけで5万5千人をこえ、ホテルやクルーズ会社も抱える一大企業となっています。シンガポールのセントーサ島にあるカジノリゾート「リゾートワールド・セントーサ」も、ゲンティンの傘下です。



ゲンティンハイランドのジオラマ

通年で30度を超えるマレー半島にあって、海拔2,000mに位置するハイランドは20度前後と涼しく、ゴルフ場や遊園地などもあり、首都のクアラルンプールから気軽に行ける高原リゾートとして、マレーシア国民はもとより、マレーシアを訪れる観光客にも人気を博しています。

リゾートには、6つのホテル、200以上のレストランがあり、客室が6,118室あるファースト・ワールド・ホテルについては、数年前まで世界最多の客室数としてギネスにも載っていました。

現在、50億リンギット（1リンギット≒30円）をかけて再開発を進めており、再開発計画の中には、映画で有名な20世紀FOX社のテーマパークも含まれています。FOX社のテーマパークは、世界でここだけです。

マレーシア政府からカジノライセンスを認可されているのは、ゲンティングループだけであり、完全な独占企業です。グループは、イギリスやアメリカにもカジノを有しており、マレーシアからマネージメントしていますが、韓国のカジノや日本のカジノ開発の担当は、ゲンティン・シンガポールが担当しています。

イスラム教信者は、教義で賭け事を禁じられています。人口の60%超を占めるマレー人は、大多数がイスラム教信者のため、カジノには入れませんし、ディーラーなどカジノに関連する職にも就けません。カジノに入場できる国民のほとんどは、中国系の国民が占めています。

シンガポールのカジノでは、国民のカジノ依存症対策が厳しく、国民の 1 回の入場に付き 100 シンガポールドルの入場料徴収、1 回あたりの滞在時間は 24 時間以内など、ハードルが高くなっています。他にも、カジノの商業の禁止、本人や家族の申請による入場禁止措置、生活保護受給者や家賃滞納者の入場禁止、カジノ内の依存症パトロール等、国民の過度の賭博行為を抑制する様々な工夫がなされています。

一方、ゲンティンハイランドでの入場制限は、イスラム教信者、もしくは本人・家族の申告があった者の 2 つで、人口の 25% を占める中国系の国民は、ほぼ制限なくカジノに入ることができます。



取り壊し中の建物が残るテーマパークの建設予定地

2017 年にオープンする 20 世紀 FOX 社のテーマパークには、10 億リングgit(約 300 億円) が投じられるそうです。その 10 ヘクタールに及ぶ予定地について、視察時にはまだ残存施設の取り壊しが行われていました。あとわずか 2 年で完成するとは信じられないくらいですが、巨大な資本力と人的資源で無事に完成することでしょう。リニューアルオープンが楽しみです。

(丸山調査役 兵庫県派遣)

